

うたごえの集い

歌えば笑顔! 楽しみをもって暮らしたい。

好きなことを続けるのは大切ですね。それは何でもよくて、ここに集まっている皆さんは歌が好きなので、月に2回寄り合い、声を合わせて歌っています。歌う曲は、童謡から懐かしの歌、最近の流行歌まで実に多彩。代表を務めている中村百合子さんが選曲しています。

中村さんは老人ホームに勤めますが、日常の世話などの業務に追われ、利用者さんたちにじっくりと向き合えないことへのやるせなさを感じていました。そこで、7年ほど前に地域の皆さんとともに「うたごえの集い」を始めたそうです。

歌唱の良いところは、リラックスできて、心にも身体にも良い影響を及ぼすことです。この日は26名の方が集まり、思い思いに歌っていました。「今日休んでいる方に中に、日頃から気にかけている方がいます」と中村さん。このように休みがちな方には声掛けをしたり、月謝も休んだ月は徴収しないようにするなど、一人ひとりが無理なく続けられることを活動の方針としています。



月に2回のペースで集まることで、生活に張り合いが生まれます。



みんなでつくろう! 日高団地「まちなか・おもいで写真展」

写真展を計画をしています。これは地域の皆さまから昔の写真をお借りして、きれいに体裁を整えて、団地内の各店舗に展示する(協力店募集中)催しです。

- 日高団地がにぎやかだった頃の様子が映し出されている(商店・祭りなど)
- 若い頃、熱心に取り組んでいた趣味(個人)や活動(団体)
- 日高団地の魅力が表現されている

※上記のような写真がありましたら、下記までご持参ください。

・日高団地自治会館 ・日高こども食堂(中村) ・スーパーみどりや(柳川)

住めバ日高

日高市の東端にある日高団地。高度成長期から平成にかけて働き盛りだった人々が便利に暮らしたこのまちが気になっていました。そんな時、住民による居場所づくりのプランを知り、当紙発行を思い付きました。取材の手伝いや、情報・写真を提供してくれる仲間を求めます。特に若い人、歓迎です。

文化新聞購読のお申込みは、株式会社ブラウズ(042-973-2525)まで。



発行：いしいデザイン(飯能市岩瀬644-1)

取材執筆：いしいデザイン

デザイン：黒田デザイン事務所

印刷協力：株式会社ブラウズ(文化新聞)

配布協力：日高団地自治会

お問合せ 090-2663-2412

m330d625@yahoo.co.jp

第3号 2023年2月

住めバ日高



第3号

日高団地は、高度成長期に市内で最初にできたニュータウン。昭和の時代は活気にあふれていましたが、いまは、おとなとこどもが平和に暮らす静かなまちに。自然が豊かで、まとまりが良く、利便性に優れていることから、住みよいスモールタウンとして、注目されはじめています。



日高団地グラウンドゴルフ秋季大会の様子。管轄は、週3回ちびっこ広場で練習しています。競うことが刺激になる、気軽にできる、仲間ができる。グラウンドゴルフが人気なのは、そのような理由からのようです。

日高団地自治会館 うたごえの集い

日高団地自治会様のご厚意により全戸配布しています。

集まって、元気になれる場所。

皆さん、2年半のブランクを感じさせない身のこなしです。

再開!くりくり元気体操

お出かけできず、お友だちにも会えない日々が続いていました。新型コロナウイルスにより、「不要不急の外出自粛」「三密回避」「マスク着用」「手指消毒」が日常となり、「大変な世の中になった…」と感じたものでした。こうした状況も3年目となり、治療法が確立されつつあることから、感染予防策を講じながらではありますが、地域活動が再開しています。

今回取材したのは、2年半ぶりに行われた「くりくり元気体操」。2021年4月にオープンした自治会館での実施となりました。「みんな再開を待ち望んでい



た。一人でいると、なかなかやらないから…」とは、ある参加者の声。参加が多かった人気の催しで、持続により効果を保てることから、2年半のブランクを心配する声が上がっていたようです。

一方、「再開に踏み切り、クラスターが起きたら…」との思いから判断に苦慮されたのは、「くりくり

元気体操」の代表(世話人)を担う前民生委員の佐野みつ枝さん。「リスクを恐れるあまり、住民の皆さんが元気な身体をキープできなくなってしまう状況も避けたい。」と、再開への舵を切ったようです。

自治会館の室内は、無垢の木材がたくさん使われ、さわやかな雰囲気。「まだまだ私は元気に動ける。」みんなで取り組むと気持ちも明るくなるようで、和やかに体操に興じていました。

使わなきゃ、もったいない

以前の日高団地は商店が立ち並び、一人ひとりが出かける用事もありました。年を取ると、動くのが億劫になったり、出かけ先もなくなり、家に閉じこもりがちになるのが、高齢化が進みつつある団地住民の現実です。

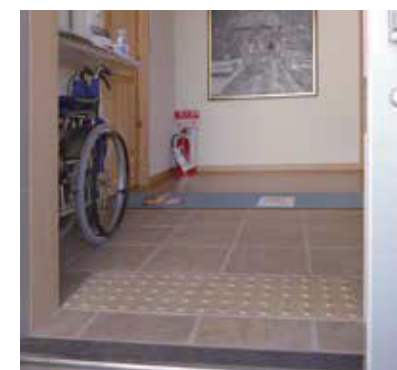
「それではマズい(-_-;)」と感じ、グラウンドゴルフを趣味にしたり、散歩を日課にする人もいます。しかし、何をやるにしても、みんなで気持ちよく過ごすことができる場所が地域にあれば、集まりやすくなります。

老朽化が進んでいた自治会館を建て直したのは、およそ2年半前。その責任者である日高団地自治会会長の平良木(ひららぎ)敏雄さんに、そこにいたった経緯をお聞きしました。

誰もが感じていることですが、高度成長期の日高団地はにぎやかでした。子どもの姿が多く見られ、街



市の移動図書館もやって来ます。
(第2・4火曜日午前11時から11時30分)



新しくできた自治会館はバリアフリー設計です。



調理設備が整っています。

に活気がありました。盆踊りや運動会などのイベントも盛んで、地縁のない人々が集まるニュータウンであつたからこそ、住民は団結し、アイデンティティを求めたとも言えましょう。

それが一様に住民が高齢化し、近隣にショッピングセンターができたことで、商店街が空洞化。「高齢化を止めることはできません。例えそうであっても、自身にも当てはまることですが、心にゆとりがあり、身動きが取れているうちに、住民同士のつながりを取り戻す必要があると考えていた。」と、平良木会長は話してくれました。そこで、自らの立場でできることと

して、自治会館の建て直し、自治会法人化による運営体制づくりに着手。賛否もあつたようですが、次の世代のために街のインフラを整えておこうと考えたそうです。

新装となった自治会館は、バリアフリー設計であるほか木質内装にするなど、現代的な造りとなっています。また、団地の真ん中辺りにあり、徒歩で行きやすい場所に位置しています。コロナ禍で、長らく活用できにくい状況にありましたが、みんなで知恵を絞りながら、がっちり使っていないともったいないですね。

日高団地自治会館
営業時間:9:00~12:00 13:00~15:00
休館日:木曜日、日曜日、祭日、指定日
お問合せ:042-989-4185
.....
くりくり元気体操
毎週火曜日・木曜日 10:00~正午まで

その他の活動中のグループ

- うたごえの集い(詳細は裏表紙)
第2・第4月曜日 13:30~15:30
- 絵手紙 日曜日 午後
- 習字 月曜日 午前
- 踊り(あやめ会) 水曜日 午前
- パッチワーク 水曜日 午後
- 民謡 金曜日 午後